



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	29,823	7.2	1,049	78.3	1,488	128.5	533	—
2021年3月期第3四半期	27,816	△13.6	588	2.5	651	△15.7	9	△97.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,527百万円 (354.5%) 2021年3月期第3四半期 336百万円 (△58.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	128.26	—
2021年3月期第3四半期	2.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	58,523	33,080	51.8
2021年3月期	56,215	31,909	52.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 30,295百万円 2021年3月期 29,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.9	1,500	31.9	1,750	28.2	900	—	216.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	4,522,933株	2021年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	357,767株	2021年3月期	371,984株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	4,158,002株	2021年3月期3Q	4,149,681株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、アメリカや欧州では景気に持ち直しの動きが見られたものの、中国では景気回復に鈍化が見られ、依然として不安定な状況が続きました。

また、わが国経済は、個人消費や一部の設備投資に持ち直しの動きが見られましたが、オミクロン株による感染の再拡大に対する懸念もあり、未だ先行き不透明感の強く残る状況となりました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界・造船業界では市況に回復の兆しが見られましたが、原材料価格の高騰や半導体不足を中心とした部品供給不足など、予断を許さない状況で推移しました。

当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現」に向けた取組を継続し、売上高は増加しました。また、前年発生したブラジルレアル安に伴う大幅な為替差損が本年は解消されたことや、当社国内外の連結子会社において新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金を受給したことなどにより、経常利益は大幅に増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は298億23百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は10億49百万円（同78.3%増）、経常利益は14億88百万円（同128.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億33百万円（同5587.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、2021 KOIKEプライベートフェアにて新製品 フジクラ社製8KW-DBC（デュアルビームコントロール）発振器搭載ファイバーレーザー切断機を中心とした新製品、新技術を発表するなど営業活動に注力しましたが、海外市場では依然新型コロナウイルス感染症の影響により販売活動が制約され、売上高は減少しました。

しかしながら、生産コストの削減に取り組んだことにより、利益は増加しました。

その結果、売上高は94億47百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は4億65百万円（同46.6%増）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、当社の主需要先である建設業界・産業機械業界の市況に復調傾向がみられたことにより、産業用ガスの出荷数量は回復基調で推移しました。また、医療分野では新型コロナウイルス感染症の影響により、パルスオキシメーター、酸素濃縮器、酸素流量計などの販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は139億16百万円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は11億14百万円（同114.4%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、溶接ロボットなどの設備投資需要の回復や、労働安全衛生法の改正に対応した作業環境測定や周辺機器の販売に注力したことなどにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は61億77百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は3億41百万円（同30.1%増）となりました。

その他

その他の部門においては、海外液晶パネルメーカー向け排ガス処理装置の販売が減少したことにより売上高は減少しました。

その結果、売上高は2億82百万円（前年同期比40.1%減）、セグメント利益は20百万円（同74.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は585億23百万円で、前連結会計年度末比23億8百万円の増加となりました。

流動資産合計は319億29百万円で、前連結会計年度末比19億80百万円の増加となりました。これは主に仕掛品が12億3百万円増加、電子記録債権が9億28百万円増加、商品及び製品が9億25百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が8億28百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は265億94百万円で、前連結会計年度末比3億27百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が489百万円増加の一方、リース資産が1億84百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は254億43百万円で、前連結会計年度末比11億37百万円の増加となりました。

流動負債合計は188億94百万円で、前連結会計年度末比13億13百万円の増加となりました。これは主に前受金が10億37百万円増加、電子記録債務が4億2百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は65億48百万円で、前連結会計年度末比1億75百万円の減少となりました。これは主に長期繰延税金負債が1億97百万円増加の一方、長期借入金が2億71百万円減少、長期リース債務が1億22百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は330億80百万円で、前連結会計年度末比11億71百万円の増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が3億49百万円増加、非支配株主持分が3億13百万円増加、その他有価証券評価差額金が3億10百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は51.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,217	11,151
受取手形及び売掛金	10,013	9,185
電子記録債権	1,800	2,728
有価証券	325	201
商品及び製品	3,279	4,205
仕掛品	1,491	2,694
原材料及び貯蔵品	1,414	1,350
その他	689	697
貸倒引当金	△282	△284
流動資産合計	29,949	31,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,760	3,796
機械装置及び運搬具(純額)	1,080	978
工具、器具及び備品(純額)	686	859
土地	6,674	6,523
リース資産(純額)	1,283	1,098
建設仮勘定	112	4
有形固定資産合計	13,597	13,261
無形固定資産		
のれん	33	25
リース資産	3	5
その他	181	254
無形固定資産合計	218	285
投資その他の資産	12,450	13,046
固定資産合計	26,266	26,594
資産合計	56,215	58,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,646	5,851
電子記録債務	3,008	3,411
短期借入金	4,550	4,432
1年内返済予定の長期借入金	528	481
未払法人税等	281	292
賞与引当金	395	335
役員賞与引当金	55	37
受注損失引当金	25	21
製品保証引当金	106	128
建物解体費用引当金	13	21
その他	2,970	3,880
流動負債合計	17,581	18,894
固定負債		
長期借入金	2,117	1,845
役員退職慰労引当金	152	143
退職給付に係る負債	189	197
資産除去債務	15	15
その他	4,249	4,345
固定負債合計	6,724	6,548
負債合計	24,306	25,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,347	2,331
利益剰余金	20,173	20,382
自己株式	△881	△820
株主資本合計	25,667	25,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,202	2,513
繰延ヘッジ損益	△10	△27
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	353	702
退職給付に係る調整累計額	356	317
その他の包括利益累計額合計	3,770	4,374
非支配株主持分	2,471	2,784
純資産合計	31,909	33,080
負債純資産合計	56,215	58,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	27,816	29,823
売上原価	19,669	21,014
売上総利益	8,146	8,809
販売費及び一般管理費	7,557	7,759
営業利益	588	1,049
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	106	115
受取賃貸料	165	253
持分法による投資利益	48	—
物品売却益	25	54
為替差益	—	24
貸倒引当金戻入額	—	0
雇用調整助成金	6	121
その他	43	59
営業外収益合計	414	647
営業外費用		
支払利息	64	63
賃貸費用	59	108
持分法による投資損失	—	5
為替差損	185	—
その他	42	31
営業外費用合計	351	209
経常利益	651	1,488
特別利益		
固定資産売却益	3	29
投資有価証券売却益	0	—
関係会社株式売却益	—	20
その他	0	—
特別利益合計	4	49
特別損失		
固定資産除売却損	36	5
減損損失	0	8
関係会社株式評価損	76	—
関係会社整理損	—	36
建物解体費用引当金繰入額	—	8
災害による損失	3	—
その他	1	4
特別損失合計	117	62
税金等調整前四半期純利益	537	1,475
法人税、住民税及び事業税	204	450
法人税等調整額	171	130
法人税等合計	375	581
四半期純利益	161	894
非支配株主に帰属する四半期純利益	152	360
親会社株主に帰属する四半期純利益	9	533

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	161	894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	320
繰延ヘッジ損益	9	△16
為替換算調整勘定	△3	368
退職給付に係る調整額	△24	△38
その他の包括利益合計	174	633
四半期包括利益	336	1,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236	1,137
非支配株主に係る四半期包括利益	99	389

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,898	11,680	5,764	27,343	472	27,816	—	27,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,898	11,680	5,764	27,343	472	27,816	—	27,816
セグメント利益	317	519	262	1,099	78	1,177	△589	588

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△589百万円には、セグメント間取引消去88百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△882百万円、棚卸資産の調整額44百万円、貸倒引当金の調整額167百万円、その他の調整額△7百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	9,447	13,916	6,177	29,541	282	29,823	—	29,823
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	9,447	13,916	6,177	29,541	282	29,823	—	29,823
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,447	13,916	6,177	29,541	282	29,823	—	29,823
セグメント利益	465	1,114	341	1,920	20	1,941	△891	1,049

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△891百万円には、セグメント間取引消去111百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△927百万円、棚卸資産の調整額△166百万円、貸倒引当金の調整額100百万円、その他の調整額△9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の機械装置部門の売上高が5百万円増加、その他の部門の売上高が37百万円減少、機械装置部門のセグメント利益が5百万円増加、その他の部門のセグメント利益が24百万円減少しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	8,249	107.2
高压ガス (百万円)	143	88.2
報告セグメント計 (百万円)	8,392	106.8
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	8,392	106.8

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	9,109	151.3	6,217	162.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	9,447	95.4
高压ガス (百万円)	13,916	119.1
溶接機材 (百万円)	6,177	107.2
報告セグメント計 (百万円)	29,541	108.0
その他 (百万円)	282	59.9
合計 (百万円)	29,823	107.2

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。